

# 熊本県総合射撃場 業務報告書

(令和元年 5 月)

熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ

# 令和元年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1～2
	1 利用者対応	
	2 利用者の増加を図るための具体的な取組	
	3 サービス向上を図るための具体的な取組	
III	維持管理状況	3～5
	1 施設・設備の維持管理	
	2 外構や植栽の維持管理	
	3 施設の衛生管理	
	4 安全管理	
	5 環境保全体制	
IV	自主事業状況	6
	1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム	
	2 その他の事業	
V	管理運営体制	6
	1 組織体制と人員配置	
	2 職員研修	
VI	緊急時対策体制	6～8
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 火災・地震災害時の対策・対応	
	3 気象災害時の対策・対応	
	4 その他の対策	
	5 保険加入による補償体制	

## 【添付資料】

資料1 施設利用状況

資料2 職員による鉛回収状況

資料3 鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

## I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県における射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、射撃場が持つ機能を最大限に発揮した管理運営を行う。

## II 管理運営状況

### 1 利用者対応

#### (1) 施設利用状況

施設名	利用者数		施設利用料	
	5月期	前年度該当月	5月期	前年度該当月
熊本県総合射撃場	556人	517人	146,110円	697,400円
累 計	840人	1,401人	200,670円	2,763,570円

※詳細は別添資料のとおり。

※前年度との比較

前年度と比較し、ライフル射撃大会が2回開催されたことから利用者数は増となりましたが、クレー射撃場が地震災害復旧工事で閉鎖となったため施設利用料は減となっています。

#### (2) 利用者からの苦情、要望等とその対応状況

5月は、利用者からの苦情、要望等はありませんでした。

### 2 利用者の増加を図るための具体的な取組

#### (1) 利用者への情報提供

各情報は、ホームページ、パンフレット、リーフレットにより提供しています。

#### (2) 利用拡大のための取組内容

5月は、利用拡大のための取組内容はありませんでした。

#### (3) 地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働

熊本県ライフル射撃協会と連携し南九州ライフル射撃大会の開催に協力しました。

### 3 サービス向上を図るための具体的な取組

#### (1) サービス向上のための取組内容

##### ①利用者主体のサービス環境づくり

大会名	実施内容	開催日
第1回国体予選	A R射場の照度設定及びターゲットホルダーの調整、B R射場の照度設定及び動作点検、S B電子標的ゴムロール移動間隔の設定変え	6日
南九州ライフル射撃大会	A R射場の照度設定及びターゲットホルダーの調整、B R射場の照度設定及び動作点検、S B電子標的ゴムロール移動間隔の設定変え	19日

##### ②利便性の向上

##### [ 様々なサービス提供 ]

内 容
・銃の手入れ用具の貸出    ・携帯電話充電器    ・コピーファックスサービス    ・雨傘の無料貸出

##### ③その他の取組

##### [地域への貢献]

実施日	場 所	内 容
8日	モニュメント	除草
10・29日	公道	ごみ拾い

### Ⅲ 維持管理状況

#### 1 施設・設備の維持管理

##### (1) 保守管理

[ 職員による日常点検一覧 ]

業 務 名	業 務 内 容	実 施 日
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機械(芝刈機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	随時
射撃機器装置点検	動作確認、機能・通電点検整備	随時

[ 委託による保守点検一覧(定期) ]

業 務 名	業 務 内 容	実 施 回 数	実 施 日
			異常有・無
自家用電気工作物保安管理	漏電監視	毎日 24時間	毎日24時間
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の点検	毎月	29日
			異常無

##### (2) 修繕・改修

[ 自主修繕等一覧 ]

実 施 内 容	場 所	実 施 日
クレー放出機、得点装置通電点検	クレー射撃場	3・10・13 ・17・20・ 24・31日
トラップA標記板取り付け	クレー射撃場	20日

[ 業者修繕等一覧 ]

実 施 修 繕	場 所	実 施 日
芝刈り機パンク修繕	倉庫	16日

## 2 外構や植栽の維持管理

射撃場内の樹木、芝生地、法面を景観の維持と災害予防の視点で、適切な管理を行っています。

### [ 業者委託 ]

5月は、業者委託はありませんでした。

### [ 職員作業 ]

場 所	実施内容	実施日
射座前平地（畝）、 受水槽周辺、ゲート右、 火薬庫周辺	除草剤散布	3日
スキートB、トラップB	クレー、ワッズ回収	4・8・24日
射座前平地、ゲート右、 S B射場裏法面、S B射場 ライフル棟国旗掲揚台周辺 ライフル棟横法面、 スキートA、スキートB	除草	3・7・8・10・11 ・16・17・23・24 ・28・29日
スキートB	クレー射台洗浄	10・12・15日
ゲート左	折れた桜の枝撤去	20日

## 3 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

### [ 職員による日常清掃内容 ]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週2回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週1回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月1回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

[ 職員等による特別清掃内容 ]

場 所	実施内容	実施日
ライフル棟	大会前清掃業務	5・18日

#### 4 安全管理

##### (1)保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災に努めています。

[ 不審者や夜間不法侵入者等の緊急対応 ]

5月は、不審者や夜間不法侵入者等の緊急出勤はありませんでした。

区 分	業務内容	実施予定時期
職員実施	施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や排除等	AM8:30～AM9:00 日中は随時 PM5:30～PM6:00
業者実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視 毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時 随時対応

#### 5 環境保全体制

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実施日
鉛回収作業(職員により実施)	別添資料2参照
調整池 清掃・汚泥処分	別添資料3参照
水質検査	なし

## IV 自主事業状況

### 1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム

#### (1)KSPA・MIZUNOスポーツ教室

教室名	時間	実施日	参加者数
ビームライフル教室	10:00～12:00	26日	5名

### 2 その他の事業

5月は、その他の事業はありませんでした。

## V 管理運営体制

### 1 組織体制と人員配置

射撃場長（統括責任者）のもと1課体制により、各種事業を円滑に行っています。

利用者対応は、開場時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っています。

利用案内・窓口受付	開場時間	職員配置時間	備考
管理棟受付窓口（4～9月）	9:00～18:00	8:30～18:30	施設点検・供用準備を含む
管理棟受付窓口（10～3月）	9:00～17:00	8:30～17:30	施設点検・供用準備を含む

### 2 職員研修

#### (1) 一般研修・階層別研修・専門研修

区分	研修名・科目	対象	実施日
外部研修	階層別研修 ①財団運営（予算・決算・公益目的支出計画等） ②ロジカルシンキング	課長	21日

## VI 緊急時対策体制

### 1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに事故に対する保険に加入し、万全の補償体制をとっています。

[ 事故等に伴う職員の出勤 ]

5月は、事故等に伴う職員の出勤はありませんでした。

[ 常備機器・用具 ]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスポストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

2 火災、地震災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
地震	熊本地震による施設対応	危険区域の立入禁止措置	1～31日

3 気象災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
訓練	国土交通省九州地方整備局より、河川氾濫警報発令訓練	関係職員メール受信の確認	19日

4 その他の対策

(1) その他の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
熱中症	定期的に熱中症測定器で計測し、利用者への情報提供	定期計測 熱中症予防呼び掛け	1日～31日

(2) 国民保護法に定める避難施設として指定された場合の支援

災害に備えて、飲料水を備蓄しています。

[ 危機管理マニュアル ]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策	・微小粒子状物質(PM2.5)対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応	
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応	
・新型インフルエンザ対応行動計画	・熱中症予防対策	

## 5 保険加入による補償体制

### [ 賠償保険加入状況 ]

保険内容	補償内容
スポーツファシリティーズ保険 (公益財団法人日本体育施設協会)	[施設所有(管理)者賠償責任保険] 対人賠償:1 事故につき 5 億円(1 名につき 3 億円) 対物賠償:1 事故につき 2 億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200 万円 医療補償:入院 1 日 2,500 円
行事参加者補償保険 (Chubb 損害保険株式会社)	死亡・後遺障害補償:200 万円 医療補償:入院 1 日 3,000 円 通院 1 日 2,000 円



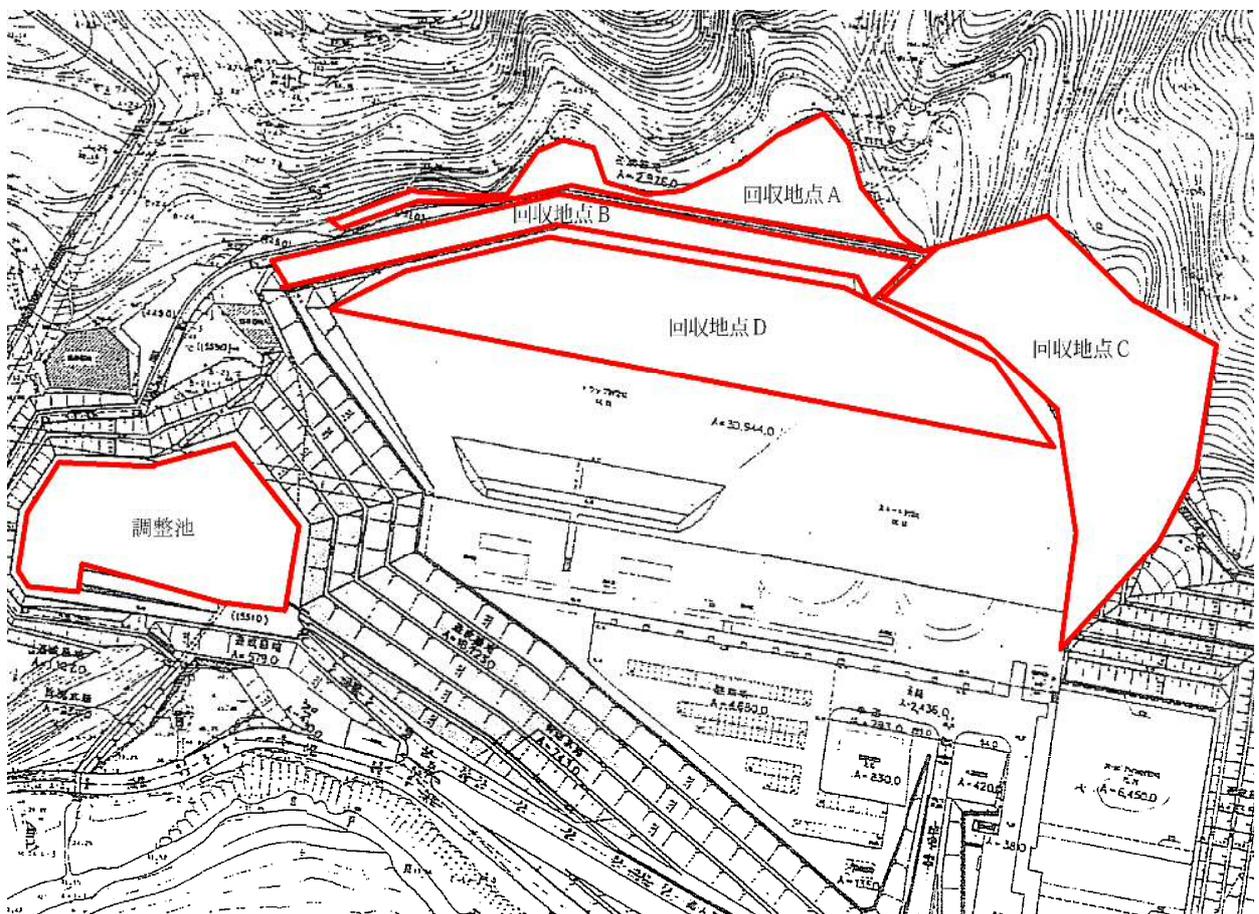


実施日	鉛回収量	泥回収量 (側溝)	回収地点				調整池汚泥 回収量	備 考
			A	B	C	D		
14日	0kg							鉛選別、法面・舗装工事
21日	0kg							鉛選別、法面・舗装工事
合 計	0kg	0kg	0	0	0	0	0kg	
累 計	0kg	0kg	0	0	0	0	0kg	

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	0枚	0.024kg	約0.0kg	約0.0kg	

鉛等回収地点図



鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

実施日	曜日	作業人数	作業箇所	回収量	側溝土砂量 (鉛含む)	調整池 汚泥回収	調整池 枯葉等除去	備考
16日	火	3人	鉛選別	0kg				射撃場職員での作業、法面・舗装工事
23日	火	3人	鉛選別	0kg				射撃場職員での作業、法面・舗装工事
<b>4月回収量合計(6人)</b>				<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0回</b>	<b>0枚×0.024kg=0kg</b>
14日	火	10人	側溝土砂回収 (鉛含まない)					法面・舗装工事
21日	火	9人	側溝土砂回収 (鉛含まない)					法面・舗装工事
<b>5月回収量合計(19人)</b>				<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0回</b>	<b>0枚×0.024kg=0kg</b>
<b>合計(延人数 25名)</b>				<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0kg</b>	<b>0回</b>	<b>0枚×0.024kg=0kg(4月)</b>
<b>回収量／鉛散乱量 = 0kg／0kg =0%(鉛回収率)</b>								

\* 調整池汚泥回収量は、乾燥前の目視量である。 \* 側溝土砂には、若干の鉛を含む。